



砂取小だより

No. 4

R 5. 6. 1 6

熊本市立砂取小学校
校長 竹原 欣哉

「いい感じ」(規律) 「お先にあいさつ」(礼節) 「やってみよう」(挑戦)

上手になるのに必要なもの ～挨拶・整理整頓～(全校集会)

6月1日の全校集会で私が話した内容をご紹介します。

1968年、今から、55年前、メキシコ・オリンピックで日本のサッカーチームは銅メダルを獲得しました。そのときの監督さんは、長沼 健 (ながぬま けん:右写真)という人でした。その長沼さんが、「サッカーが上手になるためには、2つのものが必要だ」と言っていました。

実は、この他にも、プロ野球の有名な監督や、勉強で有名な高校の先生も、同じことを言っています。サッカーでも野球でも勉強でも、うまくなる、できるようになるには、同じものが必要だと言っているのです。

では、うまくなるのに必要なもの、上手になるのに必要なものとは、いったい何でしょうか。

それは、「挨拶」と「整理整頓」なのだそうです。

「挨拶や整理整頓ができなくても、サッカーが上手になる人はいるんじゃないですか？」と長沼さんに尋ねた人がいました。これに対して、長沼さんは次のように答えたそうです。

『いません。絶対にいません。何千人という選手を育ててきましたが、サッカーが上手になる人は、必ず自分から「挨拶」ができ、「整理整頓」がきちんとできるのです。なぜだか理由は分かりませんが…。』

どんな世界でも、上手になる人、一流になる人は、「挨拶」と「整理整頓」が当たり前のようにできるようです。



この「挨拶」と「整理整頓」は、本校が掲げている「3つの合言葉」に当てはまります。「規律」・「礼節」は、その人の人間形成の土台となり、新たにチャレンジ(「挑戦」)する力の元となるということをお話から感じます。

“地域最近、あいさつがたくさん返ってくるようになりました！”

本日(6/16)、読み聞かせに来てくださっている地域の方から、次のようなお話がありました。

「校門であいさつ運動をしていますと、最近、気持ちのいいあいさつが返ってくるのが格段に多くなりました！あいさつが上手になってきたと思いました！」

少しずつではありますが、子どもたちのあいさつへの意識が高まってきている証だと思えます。

